

11月11日（月）朝礼にて

運動会の頃に赤い花の話をしたことを覚えていますか。そう、彼岸花です。でも、もう咲いていません。どうなっているかわかりますか？わかる人。「凍っている」「枯れている」う～ん、残念。「葉っぱになっている」そう、葉っぱになっています。1度見てみて下さい。彼岸花が咲いていたところを見ると、緑色の葉っぱがいっぱいあります。濃い緑色で、ニラみたいな色です。彼岸花は花だけが運動会の頃に咲くと、今度は葉っぱだけになって栄養をためて、3月から4月頃にはなくなっちゃう。そういうお話をしました。

でも、今日はそういうお話をしたいのではなくて、それを折ってしまって残念だったと言うお話をここでしましたよね。それを話したら、7人の男の子が校長室に来てくれて、「折ってしまってごめんなさい」と謝ってくれました。中には涙を流しながら謝ってくれた子もいました。先生はとってもうれしかったです。

悪いことをしてしまって、謝ることは犬にできますか？猫にできますか？カマキリにできますか？できませんよね。人間だけにできることです。だから、人間だけができるんだから、間違ったことをしたときには、きちんと謝ることがとても大切なことなんです。

「南の丘の大きな切り株」のあーちゃんは、木の枝を折ってしまったとき、どうした？「テープで貼って、ごまかした」うん、それで、そのあとは「謝った」そうだね。みんな見えていて魔女さんが本当に信じて良いの」って言ったとき、（謝ればいいのに）と思ったでしょう。ごまかして（しまった）と思ったら、素直に「ごめんなさい」と言えると良いと思います。悪いことをして、ごまかしたのを、大人が見つけたとき、しばらく待ってくれます。だから、（しまった）と思ったら、すぐに「ごめんなさい」と言えると良いと思います。人間だけができることです。だから、謝ることはとっても大切です。「南の丘の大きな切り株」で学んだことの一つです。

他にも、リンゴを3つに分けるとき、どうしたら上手に分けられるかなんていうこともあったよね。魔女さんは「ジュースにしたら平等にわけれるよ」なんてことも教えてくれました。いろんなことがいっぱいありましたが、失敗したときにきちんと謝ることがとっても大切だって言うことを覚えておいて下さい。